

1989 ◆今月の一笑 昼食は大事な活力源にもかかわらず、手取り早く、うどん、そばで済ませる人が多い。

「早くて、安いから、いつもそばを食べるんですか?」「いや、私はメン食いです」

◆——友に会って交わり遊べば日々楽しからん——と話しておられた山下塾鳥は、現在、病気療養中であり、ジョーク・サロンには当分の間、出席は難しい模様です。一日も早いご回復を祈るとともに、早く元気になられて、サロンに集う皆さまと懇談出来る日を待ちたいと思います。

◆11月の例回は、山下塾鳥抜きとなりましたが、常連の井上、矢柴、佐藤さんに加え、同巢会宛に原稿を送っていただいた方に集まっていただきました。

◆伝笑鳩は出来る限り、皆様のジョークや洒落を紹介したいと考えています。ということで、今回は、参加者のお便りが中心です。

◆ほしのいたる／市川市

子どもの頃、いろはかるたに「盗人（ぬすびと）の昼寝」というのがあり、ほおかぶりをした人相のよくない男が昼寝をしている姿が描かれていた。泥棒のことを昔は「盗人」といい、「盗人たけだけしい」などという。くだけた話し言葉でいえば、「盗人（ぬすつと）」で、「盗人に追い銭」などのことわざもある。

どうして「盗人（ぬすつと）」というのか、といえば、「ぬうつと入って来て、すうつと出て行くからだ」とのこと。

駄洒落の傑作として私が感心しているものだ。

◆宝くじに思う／豊田洋代

- くじ買って 後の心にくらぶれば 昔はものを思わざりけり
- かくとだに 思うジャンボの宝くじ たれも知らじなもゆる思ひを
- 嘆けとてくじやは物を思はする かこちがほなる我が家族かな
- 小倉山峰のもみじ葉こころあらば 今ひとたびのあたり待たなむ

◆神山 徹／世田谷区

《オフィスで…》

●会計課長のKさんの所へ、同期のSさんがきて封筒を出しながら、「金目（かなめ）なものを手に入れたので、よかったら受取って欲しい」と真顔で云う。Kさんがみるとクリップが入っているだけである。やられたと思ったKさん、とっさに、「曲ったものは受け取れない」。

これにはSさんの方がダーツとなってしまった。

●F課長からワープロを頼まれたNさん。打ち続けるうちにどうしても判らない文字に出くわした。とつおいつ考えたが判らない。古参のSさんや同僚のTさんに意見を聞くがやっぱり判らない。仕方なくご本人のF課長の所へ聞きに行くと、しばらく見つめたあげく、「どうしてもっと早く持って来なかつたんだ！今となっちゃ俺にも読めねえ」

会報の進行中に悲しいお知らせをしなければなりません。山下塾鳥がお亡くなりになりました。12月14日のことです。心よりお悔やみ申し上げます。次号は追悼集を予定しています。

1989 ◆神に召された山下塾鳥は、ジョーク鳥たちが集い、語ら
12月 い、笑い合うことを何より喜ばれるにちがいありませ
ん。みなさん、『伝笑鳩』を飛ばしましょう。

《原稿用紙》（62円切手同封にご協力願います）~~~~

.....キリトリセン.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

~~~~